

こだわりの農産物づくりによる地域農業の活性化 (特産品の「あけぼの大豆」を使った“まちおこし”)

きょうなん みのぶちょう

【山梨県峡南地域】(身延町)

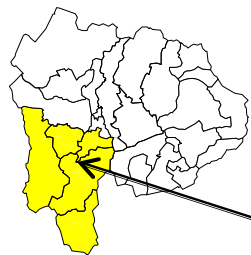
中山間地ルネッサンス

【地域の現状・課題】

- 高齢化・人口減少による後継者不足(本地域の農業就業人口における65歳以上が占める割合は79%、また、地域全体の人口も過去5年間で約9%減少(平成27年))
- 地域内に点在する耕作放棄地は、狭小で傾斜地に集中。このため農業生産基盤の整備を実施し、効率的な営農への転換や、担い手への農地集積を進めることが必要
- 施設の老朽化や高齢化により農地・農道・水路等の維持管理能力が低下しており、施設の改修や地域での維持管理が必要
- 併せて、鳥獣被害が深刻な状況であり対策強化等が必要

【地域の位置】

山梨県
(指定地域: 過疎、振興山村、特定農山村)



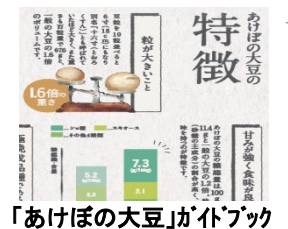
峡南地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

- 地域の今後を検討するワークショップを開催。また、地域特産農産物である「あけぼの大豆」の販促計画を立案し、所得向上と地域活性化を推進

<取組概要>

- ・「あけぼの大豆」の生産増加に向けた農家向け栽培テキスト、販売促進に向けたガイドブックの作成等を行い、県内外のイベント等にて配布
- ・県内ラジオとの連携や、東京の百貨店での限定販売等を通して「あけぼの大豆」の販売を促進



取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

- 地区内農地の不整形・小区画の農地を、大豆栽培に適するよう区画整理を実施するとともに、用排水路及び鳥獣害防止施設などを整備
【農山漁村地域整備交付金(支援事業)】
- 集出荷施設を整備し出荷基準の統一、品質向上によるブランド力強化規格外の枝豆・大豆を加工販売し、6次産業化を推進
【中山間地域所得向上支援事業(連携事業)】



整備後のほ場



用排水路・営農環境整備等



選別機械の導入

地域を下支え

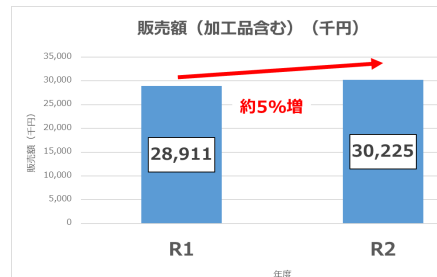
地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金(支援事業)、中山間地域等直接支払交付金(連携事業)等】

事業の効果

- あけぼの大豆の生産量の増加及び知名度向上に伴い、販売額が増加。農業者の所得向上が図られている



- 今後は、ブランド力を強化するため、地理的表示(GI)の取得(申請中)や、優良種子の確保、安定した生産と品質向上のための普及活動、加工品の販路拡大を進める



【「あけぼの大豆」のブランド強化】

- 観光との連携、新たな加工品開発に取り組み、さらなる販売促進、販路開拓を目指す



【観光連携の例: 収穫祭の様子】